

一関支部

社協だより

第 12 号

発行：令和3年 10月1日

一関市社会福祉協議会一関支部
〒021-0877 一関市城内1番36号
TEL 23-6020 / FAX 23-6024

一関工業高等学校で「車いす整備技術講習会」を開催

7月1日(木)一関工業高等学校で岩手県社会福祉協議会が主催する「車いす整備技術講習会」が開催されました。

講習会には、同校の電子機械科3年生の生徒5名が参加し、生徒が日頃の整備活動で苦勞している作業などを中心に、修理前後の留意点やタイヤの適切な取り付け方などの修理・整備技術を学びました。



【いわて車いすフレンズとは】

家庭や施設等で使われなくなった車いすを県内の工業高校等（一関市内では一関工業高と千厩高）の生徒が修理・整備し、発展途上国の障がい者の方々などに活用いただくボランティアです。一関市社協が活動を支援しています。

巖美中で「福祉学習」を行いました

7月9日(金)巖美中学校の3年生を対象に車いす体験・福祉学習が行われました。

今年度は社会福祉法人と連携し、特別養護老人ホーム福光園施設長の菅原甚吾さん、介護福祉士の佐藤優香さん、岡本奈々さんに講師をお願いし、特別養護老人ホームの施設紹介と、車いすの仕組みや操作方法について、ご指導をいただきました。また、職員への質問コーナーも設けていただき、福祉の仕事に就いたきっかけや福光園を選んだ理由、資格取得までの流れなどを教えていただきました。

参加した生徒は、体験を通して、安全な車いすの操作方法や声かけの仕方などについて学んだほか、将来に向けて進路を考える機会となりました。



配食サービスを使ってみませんか？

一関市社会福祉協議会一関支部では、いわいケイタリング様の協力を得て、在宅の高齢者等を対象に、安否確認を兼ねて、夕食を配達しています。

対象者 ① 65歳以上の一人暮らし高齢者
② 高齢者世帯、心身に障がいのある方

提供日 月曜日から金曜日
※土日、祝日、12/29～1/3は休み

利用料 一食 400円、おかずのみの場合は 350円
※利用料は1か月分をまとめ、翌月請求いたします



対象の方からの申し込みはもちろんのこと、ご家族の方や民生委員、ケアマネジャー等の福祉関係者の方からのご相談もお待ちしております！

くわしくは一関支部 加藤 (TEL23-6020) までお問い合わせください♪

【この事業は皆様からお寄せいただいた共同募金の配分金と社協会費等で実施しております。】

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金への協力について(お願い)

【赤い羽根共同募金】

赤い羽根共同募金運動が、今年度も10月1日から全国一斉に募金運動が開始されます。

皆様よりいただいた募金の使い道は、県内で実施している地域福祉活動への支援、民間の福祉施設等の整備助成や、当市を含め社会福祉協議会が行う地域福祉事業に共同募金配分金として交付されているほか、全国の被災地活動支援に充てられるなど福祉全般の推進を財政面から支える重要な役割を果たしています。

昨年度の一関地区の赤い羽根共同募金額は6,578,752円となり、皆様のご協力で深く感謝を申し上げます。

つきましては、今年度の目標額を6,610,000円とし赤い羽根共同募金運動を行ってまいりますので、1世帯あたり400円を目安額として、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

～ 赤い羽根共同募金のつかいみち ～

<岩手県共同募金会が行う助成事業>

- 福祉のまちづくり支援事業
- 施設設備費
- 生活課題解決支援事業
- 災害見舞金
- 歳末たすけあい助成
- 地域福祉活動事業



<上記(地域福祉活動事業)を受けて、一関支部が実施している主な事業>

- ふれあいサロン事業
- 小地域福祉活動事業
- 食事サービス事業
- 社協だより

【歳末たすけあい募金】

12月1日から「歳末たすけあい運動」が始まります。この運動は、新しい年を迎えるにあたって、支援や援助を必要とする人たちに地域のみなが「たすけあい」「ささえあい」「思いやり」の気持ちをもって進めている運動です。

令和3年度の目標額は、一関地区事務所で6,910,000円とし、1世帯あたり300円を目安額としております。

皆様からいただきました募金は、生活に困っている世帯の方々に配分されます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年度実績額	令和3年度目標額
6,816,030円	6,910,000円

※岩手県共同募金会「赤い羽根NEWS」は、一関市総合福祉センター、一関市役所、一関保健センター、一関図書館、一関地区の各市民センター等に設置しております。